

基本目標 3

家庭・学校・地域の教育力の向上

(1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

①豊かな心と健やかな体の育成

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	子どもからの相談体制の充実	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから声掛けしやすい雰囲気工夫</li> <li>子どもへ子ども家庭支援センターの周知</li> </ul> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員・会計年度任用職員が、様々な研修に参加し、相談に必要な専門的知識を習得した。</li> <li>保育園や学校に出向き、子どもと面談を行う際、緊急連絡先掲載の相談リーフレット等を配布した。</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが相談しやすい雰囲気工夫</li> <li>相談先の周知</li> </ul> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員・会計年度任用職員が、様々な研修に参加し、相談に必要な専門的知識を習得した。</li> <li>保育園や学校に出向き、子どもと面談を行う際、緊急連絡先掲載の相談リーフレット等を配布した。</li> </ul>	<p>時代の変化に伴い、相談内容も変遷することから研修参加を継続し、新たな知識の習得に努める必要あり</p>
	子育て応援課			<p>達成度</p> <p>B</p>
2	教育相談等の充実	<p>【目標】</p> <p>教育相談体制の充実</p> <p>【進捗状況】</p> <p>スクールカウンセラーを全校に配置しているほか、町の専任相談員を全小学校に週2回派遣、全中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒の抱える悩みや問題解決に向けた体制を整えた。</p>	<p>【目標】</p> <p>教育相談体制の充実</p> <p>【進捗状況】</p> <p>スクールカウンセラーを全校に配置しているほか、町の専任相談員を全小学校に週2回派遣、全中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒の抱える悩みや問題解決に向けた体制を整えている。</p>	<p>専門性のある専任相談員を継続的に確保する必要あり</p>
	教育指導課			<p>達成度</p> <p>B</p>
3	健康教育の推進	<p>【目標】</p> <p>発達段階に応じた保健指導や保健学習の充実</p> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたる心身の健康の保持増進を目指し、基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活を実践できる態度を育成した。</li> <li>小学校3年生から保健の学習を行った。</li> <li>身体計測時等に養護教諭が健康指導を行った。</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>発達段階に応じた保健指導や保健学習の充実</p> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生から保健の学習を行っている。</li> <li>身体計測時等に養護教諭が健康指導を行っている。</li> </ul>	<p>各種体力調査において、体力合計点を高める必要あり</p>
	教育指導課・学校教育課			<p>達成度</p> <p>B</p>
住民との協働		ボランティア、関係団体との連携強化		

(1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

①豊かな心と健やかな体の育成

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
4	中学生・高校生と乳幼児との交流促進	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高・大学生の職場体験の積極的受入による交流</li> <li>・各種事業に学生の参加を依頼することにより交流を促す</li> <li>・「読み聞かせ事業」をはじめとするジュニアリーダー養成講座の実施</li> <li>・職場体験の積極的な促進</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の職場体験時に乳幼児と関わる職場での体験を実施、促進した。</li> <li>・児童館では、職場体験や実習を受け入れる際、交流促進に努めた。(達成度B)</li> <li>・ジュニアリーダー養成講座は、読み聞かせ事業に14名の参加があり、上半期は子ども家庭支援センター、狭山保育園、図書館で実施し、下半期は対面で南平保育園、図書館、子ども家庭支援センターで実施した。コロナ禍であったが、工夫を凝らして、事前撮影による動画上映により実施した。また、こどもフェスティバルにはボランティアとして、7名の参加があった。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高・大学生の職場体験の積極的受入による交流</li> <li>・各種事業に学生の参加を依頼することにより交流を促す</li> <li>・ジュニアリーダー養成講座である「読み聞かせ事業」の実施</li> <li>・職場体験の積極的な促進</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の職場体験時に乳幼児と関わる職場での体験を実施、促進している。</li> <li>・児童館では、職場体験や実習を受け入れる際、交流促進に努めた。(達成度B)</li> <li>・児童館では、10/15(日)こどもフェスティバルに参加予定。</li> <li>・ジュニアリーダー養成講座では、「読み聞かせ事業」に中学生・高校生を含む17名の参加があり、子ども家庭支援センター、図書館、長岡保育園で上半期の事業を実施した。また、こどもフェスティバルのボランティアを広報等で募集し、14名の応募があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞穂農芸高校との連携による事業の継続が重要</li> <li>・職場体験の受け入れ先を開拓する必要あり</li> <li>・ジュニアリーダー養成講座は、小学5年生から18歳までが対象であり、中学生以上は部活動との両立等、参加が小学生に比べて少なくなる状況</li> </ul>
		子育て応援課・教育指導課・社会教育課	達成度	B
5	豊かな体験活動の推進	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での体験活動の充実</li> <li>・「子どもの集い」「子どもリーダー宿泊研修会」を実施</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらまつり、産業祭で予定していた「子どもの集い」は中止となった。</li> <li>・「子どもリーダー宿泊研修会」は中止となったが、3月に「六道山謎解きラリー」を実施した。</li> <li>・学校では、6月にオーケストラによる音楽鑑賞教室を実施。伝統文化鑑賞教室を9月に実施。茶道教室を3学期に瑞穂中学校、瑞穂第二中学校でそれぞれ実施した。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での体験活動の充実</li> <li>・「子どもの集い」「子どもリーダー研修会(日帰り)」を実施。</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年及び中学校を対象に、6月にオーケストラによる音楽鑑賞教室を実施。茶道教室を3学期に瑞穂中学校、瑞穂第二中学校でそれぞれ実施予定。各小学校では演劇や音楽の鑑賞を演劇等鑑賞教室として実施している。</li> <li>・「子どもリーダー日帰り研修会」として、7名の参加があり、カヤック体験を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの参加者を募るための方策の検討</li> <li>・伝統文化の内容と、ふるさと教育「みずほ学」の内容の関連を図る必要あり</li> </ul>
		社会教育課・教育指導課	達成度	B
6	人権教育の充実	<p><b>【目標】</b></p> <p>人権に対する正しい知識・理解を育む</p> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>学校教育活動全体を通し、人権の意味と課題を理解するとともに自他を大切に、互いに認め合うことができる心情と態度の育成を図った。</p>	<p><b>【目標】</b></p> <p>人権に対する正しい知識・理解を育む</p> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>学校教育活動全体を通し、人権の意味と課題を理解するとともに自他を大切に、互いに認め合うことができる心情と態度の育成を図る。</p>	<p>人権に関する各種研修を引き続き充実させる必要がある。</p>
		教育指導課	達成度	B
住民との協働		地域住民等の参画により、家庭・地域、学校、団体などの交流により、地域のつながりが生まれる。		

【達成度】A：目標を達成 B：おおむね目標を達成 C：若干目標には達せず D：大幅に目標に達せず E：検討中及び未実施

(1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

②学校教育の充実

施策名		令和4年度	令和5年度	課題		
1	学校運営連絡協議会の充実	<b>【目標】</b> 学校運営連絡協議会の充実  <b>【進捗状況】</b> 学校運営の改善に向けた取組への助言や支援を実施した。	<b>【目標】</b> 学校運営連絡協議会の充実  <b>【進捗状況】</b> 学校運営の改善に向けた取組への助言や支援を実施している。	学校運営連絡協議会の進捗状況を確認することが課題  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>達成度</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	<b>達成度</b>	B
	<b>達成度</b>					
B						
教育指導課						
2	地域との連携	<b>【目標】</b> ・学校活動を支援する仕組みづくりの推進 ・地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携・協働の推進  <b>【進捗状況】</b> ・地域の人たちがボランティアや地域の特別講師として学校活動を支援した。 ・学校と地域を結ぶ地域学校協働本部を各学校に設置し、連携・調整役を担う地域コーディネーターを地域住民の方に委嘱した。 ・地域人材リストを活用した。	<b>【目標】</b> ・学校活動を支援する仕組みづくりの推進 ・地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携・協働の推進  <b>【進捗状況】</b> ・地域の人たちがボランティアや地域の特別講師として学校活動を支援している。 ・学校と地域を結ぶ地域学校協働本部を各学校に設置し、連携・調整役を担う地域コーディネーターを地域住民の方に委嘱している。 ・中学校職場体験の受入れ先を商工会を通じ地域企業等に協力を依頼した。	地域人材のリスト等の精度を上げる必要がある。また、地域学校協働本部の人材を広く確保する必要がある。  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>達成度</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	<b>達成度</b>	B
	<b>達成度</b>					
B						
教育指導課						
3	不登校児童・生徒への支援	<b>【目標】</b> 不登校児童・生徒及び家庭への支援  <b>【進捗状況】</b> ・適応指導教室や教育相談室、スクールカウンセラー、家庭と子どもの支援員、スクールソーシャルワーカーの活用による支援を実施した。 ・子ども家庭支援センターでは、不登校の要素を含む相談について、学校と連携を図り、家庭訪問等アウトリーチを実施した。	<b>【目標】</b> 不登校児童・生徒及び家庭への支援  <b>【進捗状況】</b> ・適応指導教室や教育相談室、スクールカウンセラー、家庭と子どもの支援員、スクールソーシャルワーカーの活用による支援を実施している。 ・子ども家庭支援センターでは、不登校の要素を含む相談について、学校と連携を図り、家庭訪問等アウトリーチを実施した。	不登校対策は、教育相談室の専任相談員やスクールソーシャルワーカーとの連携を図りながら進める必要あり  <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>達成度</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	<b>達成度</b>	B
	<b>達成度</b>					
B						
教育指導課・子育て応援課						
住民との協働		・学校運営協議会は、地域住民が構成員 ・特別講師等、地域の方が学校活動を支援				

(1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

③ 幼児教育の充実

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	幼稚園・保育園等と小学校との相互連携と交流の促進	<b>【目標】</b> 幼稚園・保育園と小学校との相互連携と交流の推進  <b>【進捗状況】</b> ・地区内の交流活動を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら保育園・幼稚園からの要請に基づき複数回心理士を派遣し、保育士からの相談を受け就学相談に繋げる等の連携を実施した。 ・園からの要請に応じ、保護者へ向けた就学準備等の講座を実施した。 ・読み聞かせ推進事業の実施による情報交換の場は新型コロナウイルス感染拡大の影響により未実施	<b>【目標】</b> 幼稚園・保育園と小学校との相互連携と交流の推進  <b>【進捗状況】</b> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら保育園・幼稚園からの要請に基づき複数回心理士を派遣し、保育士からの相談を受け就学相談に繋げる等の連携を実施している。	幼稚園・保育園、小学校の交流を定期的に行う等、更なる連携強化が必要
		子育て応援課・教育指導課		
2	幼児教育振興補助事業の充実	<b>【目標】</b> 保護者及び幼稚園協会への補助金の適正交付  <b>【進捗状況】</b> ・幼稚園協会への補助金は交付済 ・保護者への補助金は交付済	<b>【目標】</b> 保護者及び幼稚園協会への補助金の適正交付  <b>【進捗状況】</b> ・幼稚園協会への補助金は交付済 ・保護者への補助金は、上半期分交付済	補助金の継続支給
		子育て応援課		
住民との協働				

(1) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の整備

④思春期保健等の充実

施策名		令和4年度	令和5年度	課題	
1	思春期保健等の充実	<b>【目標】</b> 健康教育、保健指導の充実・強化  <b>【進捗状況】</b> ・外部専門職による薬物乱用防止教室等を実施した。 ・全小・中学校で、外部専門職によるがん教育を実施した。	<b>【目標】</b> 健康教育、保健指導の充実・強化  <b>【進捗状況】</b> ・外部専門職による薬物乱用防止教室等を実施している。 ・全小・中学校で、外部専門職によるがん教育を実施している。	がん教育については、指導内容を地域と連携して実施する必要あり	
	教育指導課			<table border="1"> <tr> <td>達成度</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	達成度
達成度					
B					
住民との協働					

(2) 子どもの居場所づくり

①学校等を利用した居場所づくり

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	「瑞穂町総合型地域スポーツクラブ」の充実  社会教育課	<b>【目標】</b> クラブ運営に必要な情報提供及び支援  <b>【進捗状況】</b> 前年度末で役員が総辞職し、新役員のもとバスケットボール事業のみを行った。 活動に必要な施設の提供及び情報提供を行った。	<b>【目標】</b> クラブ運営に必要な情報提供及び支援  <b>【進捗状況】</b> 活動に必要な施設の提供及び情報提供を行った。	笑夢スポーツクラブの運営に情報提供及び支援を継続して行う必要あり   達成度 A
		<b>【目標】</b> ・学校図書室と連携した読書活動及び学習の活性化 ・親子を対象とした読み聞かせ事業の継続  <b>【進捗状況】</b> ・学校図書室との情報連絡会を実施予定です。 ・図書館と各地域図書室で読書手帳や本の思い出を配布している。 ・おはなしの会は82回実施した。 保健センターで実施予定の乳幼児を対象にした読み聞かせは、1回実施した。(1月31日現在) ・子ども家庭支援センターでの読み聞かせ事業「おはなしはじまるよ」を、10回実施した。	<b>【目標】</b> ・学校図書室と連携した読書活動及び学習の活性化 ・親子を対象とした読み聞かせ事業の継続  <b>【進捗状況】</b> ・学校図書室との情報連絡会を1回実施した。 ・図書館と各地域図書室で読書手帳や本の思い出を配布している。 ・おはなしの会は51回実施した。 保健センターで実施予定の乳幼児を対象にした読み聞かせは、4回実施した。 ・子ども家庭支援センターでの読み聞かせ事業「おはなしはじまるよ」を、令和5年9月末現在5回実施した。	・学校図書館司書と連携し、子どもの主体的、意欲的な読書活動や学習活動を継続的に支援する必要がある。 ・子ども家庭支援センターで実施している読み聞かせ事業の更なる周知 ・感染症対策を講じながら事業を実施していく必要がある。   達成度 B
2	子ども読書活動の推進  図書館・子育て応援課	<b>【目標】</b> ふるさとの魅力を伝えるため、各種事業を実施  <b>【進捗状況】</b> ・親子で参加できる体験教室や工作教室等を実施した。 ・子供も楽しめる、自然に関する展示や特別展を実施した。 ・夏休み期間中にはキッズスペースを設置した。 ・みずほまるの着ぐるみを活用したイベントなどを実施した。	<b>【目標】</b> ふるさとの魅力を伝えるため、各種事業を実施  <b>【進捗状況】</b> ・親子で参加できる体験教室や工作教室等を実施した。 ・子供も楽しめる、昆虫に関する展示やホタル観察会を実施した。 ・隣接する耕心館と連携したイベントの中で子供向けワークショップなどを実施した。	各学校や各種団体、隣接する耕心館等と連携し、子供向けの事業をより充実させる必要がある。   達成度 B
3	郷土資料館の活用  図書館	<b>【目標】</b> 狭山池公園、松原中央公園にスプリング遊具(みずほまる)設置  <b>【進捗状況】</b> 狭山池公園、松原中央公園にスプリング遊具(みずほまる)を各1基ずつ設置した。	<b>【目標】</b> ・狭山谷公園、さくら公園にスプリング遊具(みずほまる)設置 ・箱根ヶ崎駅西地区に新規公園の整備予定があり、整備にあたり関係者等と検討する。  <b>【進捗状況】</b> ・狭山谷公園、さくら公園にスプリング遊具(みずほまる)を各1基ずつ施工中 ・箱根ヶ崎駅西地区に新規公園の整備予定があり、整備にあたり関係団体を設立中	自由な発想で創造性ある遊びができる公園を追究、検討する必要あり   達成度 B
住民との協働		町内会及び公園ボランティアとの連携強化		

【達成度】A：目標を達成 B：おおむね目標を達成 C：若干目標には達せず D：大幅に目標に達せず E：検討中及び未実施

(2) 子どもの居場所づくり

②児童館の充実

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	児童館運営の充実	<p>【目標】</p> <p>移動児童館事業の更なる充実</p> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内小中学校長期休業期間中、期間限定移動児童館を、各コミュニティセンターで138回実施</li> <li>・各コミュニティセンターで、幼児移動児童館を73回、就学児向け移動児童館を44回実施</li> </ul>	<p>【目標】</p> <p>移動児童館事業の更なる充実</p> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内小中学校長期休業期間中、期間限定移動児童館を、各コミュニティセンターで96回実施予定</li> <li>・各コミュニティセンターで、幼児移動児童館を36回、就学児向け移動児童館を22回実施予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コミュニティセンターで実施する事業について、定期開催の回数を増やす等で、日常的な居場所づくりとすることが必要</li> <li>・児童館から遠い地域の大人にも児童館の存在をPRすることが必要</li> </ul>
	子育て応援課			<p>達成度</p> <p>B</p>
2	中学生・高校生への支援	<p>【目標】</p> <p>勉強や待ち合わせの場所等多面的に利用できる旨周知</p> <p>【進捗状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、各部屋で少人数で過ごせるよう机やマットなどを配置した。学校や塾の宿題を行う児童が見られた。</p>	<p>【目標】</p> <p>勉強や待ち合わせの場所等多面的に利用できる旨周知</p> <p>【進捗状況】</p> <p>時折、学校や塾の宿題を行う児童・生徒が見受けられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年から高校生までの児童への児童館の魅力発信の必要あり</li> <li>・開館時間の延長等検討する必要あり</li> </ul>
	子育て応援課			<p>達成度</p> <p>B</p>
住民との協働				

(2) 子どもの居場所づくり

③放課後児童対策の充実

施策名		令和4年度	令和5年度	課題		
1	放課後子ども総合プランの推進  社会教育課・子育て応援課	<b>【目標】</b> プランの継続的な推進  <b>【進捗状況】</b> 放課後子ども教室は一学期より実施。「科学であそぼう」は三小と五小で実施。放課後子ども総合プランに該当する学童保育クラブとの連携事業等は実施できなかった。	<b>【目標】</b> プランの継続的な推進  <b>【進捗状況】</b> 学童保育クラブと連携して、「科学であそぼう」を三小、四小、五小で実施した。	関係各課の連携と体系の構築の必要あり          <table border="1"> <tr><td>達成度</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	達成度	B
		達成度				
B						
2	「放課後子ども教室」の充実  社会教育課	<b>【目標】</b> 現場指導員・地域との連携により、内容の充実を重視し教室を開催  <b>【進捗状況】</b> <b>【一学期実績】</b> 一小：6回、二小：6回、三小：14回、四小：13回、五小：9回 <b>【二学期実績】</b> 一小：14回、二小：17回、三小：29回、四小：16回、五小：49回 <b>【三学期実績】</b> 一小：11回、二小：10回、三小：14回、四小：19回、五小：24回	<b>【目標】</b> 現場指導員・地域との連携により、内容の充実を重視し教室を開催  <b>【進捗状況】</b> <b>【一学期実績】</b> 一小：10回、二小：7回、三小：15回、四小：13回、五小：17回 体験教室として、ダンス教室を一小、三小で実施した。	協力いただけるスタッフの確保          <table border="1"> <tr><td>達成度</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	達成度	B
		達成度				
B						
3	学童保育クラブの充実  子育て応援課	<b>【目標】</b> 待機児童対策として、期間限定保育（夏季限定保育）の定着  <b>【進捗状況】</b> ・待機児童対策として、夏季限定保育実施、入所41人、4月の待機児童0人	<b>【目標】</b> 待機児童対策として、期間限定保育（夏季限定保育）の定着  <b>【進捗状況】</b> ・待機児童対策として、夏季限定保育実施、入所52人、4月の待機児童1人	夏季限定保育の活用、その他調整により年度当初から待機児童を出さない運用が課題          <table border="1"> <tr><td>達成度</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table>	達成度	C
		達成度				
C						
住民との協働		地域住民等の参画により、家庭・地域、学校、団体などの交流により、地域のつながりが生まれる。				



(3) 地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

①地域との連携と人材活用

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	地域における人材の育成・活用	<p>【目標】</p> <p>総合人材リストのPR、活用の活性化</p> <p>【進捗状況】</p> <p>総合人材リストの登録は「パソコン指導」で1件あったが、活用の実績はなかった。</p>	<p>【目標】</p> <p>総合人材リストを利用促進し、地域における人材活用を促進する。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>問合せが4件あり、1件は登録者と繋ぐことができた。また、新規登録の申請が1件あった。</p>	<p>広報・HP・他施設への資料設置等の周知方法の模索し、活用の活性化を図る必要がある。また、登録者の高齢化等により、対応できないケースもあるため、リストの見直す必要がある。</p>
	社会教育課			<p>達成度</p> <p>D</p>
2	家庭教育の充実	<p>【目標】</p> <p>社会教育事業の中での家庭教育支援の推進</p> <p>【進捗状況】</p> <p>読み聞かせ事業は上半期2か所（子ども家庭支援センターひばり、狭山保育園）、11月に図書館で実施した。「わくわくしゃべりば」はオンラインで12回（毎月1回）実施した。</p>	<p>【目標】</p> <p>社会教育事業の中での家庭教育支援の推進</p> <p>【進捗状況】</p> <p>ジュニアリーダー養成講座で上半期の「読み聞かせ事業」を実施した。住民提案型協働事業で「わくわくしゃべりば」、「伝統文化こどもいけ花教室」、「伝統文化子ども華道教室」、「リズムに合わせて楽しい親子の運動あそび」を実施した。</p>	<p>住民提案型協働事業の推進による家庭教育の充実させるとともに、事業を広く周知し、多くの方に参加していただくことが必要</p>
	社会教育課			<p>達成度</p> <p>B</p>
3	ジュニアリーダーの養成	<p>【目標】</p> <p>実施内容の充実</p> <p>【進捗状況】</p> <p>読み聞かせ事業は上半期2か所（子ども家庭支援センターひばり、狭山保育園）、11月に図書館で実施し、こどもフェスティバルにもボランティア参加した。「子どもの集い」、「子どもリーダー宿泊研修会」は中止となったが、3月に代替事業として「六道山謎解きラリー」を実施した。</p>	<p>【目標】</p> <p>実施内容の工夫、充実</p> <p>【進捗状況】</p> <p>「読み聞かせ事業」は17名の参加があり、子ども家庭支援センター、図書館、長岡保育園で上半期の事業を実施した。「子どもリーダー日帰り研修会」は7名の参加があり、カヤック体験を実施した。また、こどもフェスティバルのボランティアを広報等で募集し、14名の応募があった。</p>	<p>中学生以上の参加が小学生に比べて少なくなる傾向であり、実施内容や回数の精査等、参加者が参加しやすくなるような工夫が必要</p>
	社会教育課			<p>達成度</p> <p>B</p>
住民との協働		住民提案型協働事業では、住民が組織するグループ、団体等と教育委員会が事業を実施することにより、生涯学習の推進に寄与する。		

(3) 地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

②世代間交流による子育て支援

施策名		令和4年度	令和5年度	課題
1	世代間交流・地域連携の推進	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等が行う事業を支援する。</li> <li>・こどもフェスティバル実施</li> <li>・子ども会連合会・地区青少年協議会への支援</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもフェスティバルは10月16日(日)実施。</li> <li>・こども会連合会の活動は「工作教室」を8月に、「モルック体験」を11月に実施。</li> <li>・地区青少年協議会とは会長会議及びパトロール活動で情報共有している。</li> <li>・各地域で実施されている世代間交流事業や地域子育て支援事業に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を一緒に食べる活動を支援した。令和4年度は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4年度の参加者は、瑞穂第一小学校が260人、瑞穂第四小学校は248人だった。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等に対し、地域づくり補助金等により側面からの支援を行う。</li> <li>・こどもフェスティバルへの参加</li> <li>・子ども会連合会・地区青少年協議会への支援</li> <li>・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。また、地域の拡大を目指す。</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもフェスティバルは実行委員会を組織し、内容に関する協議を重ね、10月15日(日)実施予定</li> <li>・子ども会連合会主催事業として、「紙ひこうき大会」(39名参加)、「工作教室」(29名参加)を実施した。</li> <li>・地区青少年協議会では、各地区で夏休み非行防止パトロールを実施した。</li> <li>・町内会・自治会での各種行事もコロナ禍以前の状況に戻りつつあり、各地域での行事(世代間交流事業や地域子育て支援事業)に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を一緒に食べる活動を支援した。令和5年度上半期は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4月から9月の参加者は、瑞穂第一小学校が156人、瑞穂第四小学校は151人だった。8.9月は地元からジェラートの提供があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもフェスティバル実行委員会への若者の参加促進</li> <li>・子ども会は、少子化及び保護者負担増による加入者の減少</li> <li>・地区青少年協議会への支援方法の研究</li> <li>・町内会・自治会加入率の低下、役員の高齢化、若年世帯の未加入、高齢世帯の脱会等に対する対応策の検討</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を提供し一緒に食べる活動について5年度10月から開催校を1校増やし、3校で開催する。円滑に開催する。</li> </ul>
		<p>達成度</p> <p>B</p>		
2	地域で子どもを育てる環境づくりの推進	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークル活動支援</li> <li>・子ども会連合会の活動支援</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援を住民提案型協働事業(伝統文化いけ花教室【2事業】)を通して実施</li> <li>・こども会連合会の活動は、「工作教室」を8月に、「モルック体験」を11月に実施</li> <li>・子育てサークル支援事業としては、「わくわくしゃべりば」がオンラインで10回実施。「わんぱくクラブ」は10月と2月に実施</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークル活動支援</li> <li>・子ども会連合会の活動支援</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>住民提案型協働事業で「わくわくしゃべりば」、「伝統文化こどもいけ花教室」、「伝統文化子ども華道教室」、「リズムに合わせて楽しい親子の運動あそび」を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークルの活動を支援するとともに、子ども家庭支援センターとの共催事業等の連携の検討が必要</li> <li>・子ども会連合会活動を支援するとともに、子ども会の少子化及び保護者負担増による加入者の減少</li> </ul>
		<p>達成度</p> <p>B</p>		
住民との協働		地域住民等の参画により、家庭・地域、学校、団体などの交流による地域のつながりや、世代・地域を超えた交流が生まれる。		

(3) 地域と協働で進める子育て支援のコミュニティづくり

②世代間交流による子育て支援

施策名	令和4年度	令和5年度	課題
<p>3 多世代間交流事業の支援</p> <p>協働推進課・福祉課・子育て応援課・関係各課</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等が行う事業を支援する。</li> <li>・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの対策をして、第一小学校は5回、第四小学校は6回開催することができた。</li> <li>・多世代間交流事業である「こどもフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間中止していたが、感染対策を講じて、開催することができた。</li> <li>・各地域で実施されている世代間交流事業や地域子育て支援事業に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を一緒に食べる活動を支援した。令和4年度は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4年度の参加者は、瑞穂第一小学校が260人、瑞穂第四小学校は248人だった。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会等に対し、地域づくり補助金等により側面からの支援を行う。</li> <li>・第一小学校と第四小学校で開催している「おひさまキッチン」を側面から支援し、順調に開催する。また、地域の拡大を目指す。</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会での各種行事もコロナ禍以前の状況に戻りつつあり、各地域での行事（世代間交流事業や地域子育て支援事業）に対し、地域づくり補助金を交付することにより、町内会・自治会等を側面から支援した。</li> <li>・こどもフェスティバルは実行委員会を組織し、内容に関する協議を重ね、10月15日（日）実施予定</li> <li>・子ども会連合会主催事業として、「紙ひこうき大会」（39名参加）、「工作教室」（29名参加）を実施した。</li> <li>・地区青少年協議会では、各地区で夏休み非行防止パトロールを実施した。</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を提供し一緒に食べる活動を支援した。令和5年度上半期は瑞穂第一小学校と第四小学校で実施した。2校とも家庭科室を使用し、4月から9月の参加者は、瑞穂第一小学校が156人、瑞穂第四小学校は151人の参加となった。8・9月は地元からジェラートの提供があった。</li> </ul>	<p>関係団体との様々な事柄の調整。また、感染症予防の策を講じること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会加入率の低下、役員の高齢化、若年世帯の未加入、高齢世帯の脱会等に対する対応策の検討</li> <li>・ボランティア団体「おひさまキッチンの会」が多世代間交流事業として、朝食を提供し一緒に食べる活動について5年度10月から開催校を1校増やし、3校で開催する。円滑に開催する。</li> </ul>
<p>住民との協働</p>	<p>ボランティア、関係団体との連携強化 地域住民等の参画により、家庭・地域、学校、団体などの交流による地域のつながりや、世代・地域を超えた交流が生まれる。</p>		
			<p>達成度</p>
			<p>B</p>